

## コンビナート地域における地域と企業の協働体制を強化し、環境学習を通じた持続可能な地域づくりモデル事業

ひろげる助成

3年目

実践

滞在型環境学習  
モデルツアーの実施 2回

水島学講座の開催 6回

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 90%



滞在型環境学習モデルツアーの様子

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

7月に発生した西日本豪雨災害の関係で、水島地域の関係者が被災者の受入れや支援の活動に手を取られ、水島学講座などの日程調整などが遅れ遅れになってしまった。

#### ■ 工夫した点

水島学講座(国際編)やモデルツアーの実施に当たり、地元の倉敷古城池高校との連携を深めることで、地域に育つ若者の地域への愛着を育むことにつながった。

### 課題

これまでの取組みで、協働により話し合いや取組みのできる関係性はできていたが、参加企業は一部に限られ、市民側も含めて地域全体の取組みとすることが求められていた。

### 目標

環境学習を切り口にコンビナートを中心とした地域の企業と行政、地域住民、大学等との協働の関係性を構築し、取組みを進めることで、持続可能な地域づくりを進める。

### 活動内容と成果

2017年度に立ち上げた「みずしま滞在型環境学習コンソーシアム」の具体的な取組みとして、2回のモデルツアーを実施するとともに、持続可能な体制づくりに向けての議論を積み重ねた。地域と企業をつなぐ取組みとして「水島コンビナート環境学習ツアー」を開催し、34人の参加があった。地域のことを学び、若者の地域への愛着を育む取組みとして水島学講座(国際編、歴史編)を計6回開催した。これらの取組みを発信するため、「みずしまスタイル」を年3回発行し、毎週金曜日にFMラジオで15分間活動紹介を行った。



コンビナートクルーズ(10/24)の様子

### 全助成期間の活動を振り返って

環境学習を通じた地域づくりの取り組みを積み重ねることで、地域のさまざまなステークホルダーとのつながりが広がっていき、倉敷市の政策部局や、倉敷商工会議所、岡山経済同友会といった団体など、これまであまり関係性のなかった団体ともつながりをつくることができました。実際に、環境学習モデルツアーや、水島学講座などで、役割分担もできてきているので、今後はこの取組みを持続可能にしていくための仕組みを確立していきたい。



水島学講座(歴史編)(11/17)の様子

| 活動地域 | 倉敷市水島地域

〒712-8034 岡山県倉敷市水島西栄町13-23

電話 : 086-440-0121

E-mail : webmaster@mizushima-f.or.jp

<https://www.mizushima-f.or.jp/>



今後の  
展望

水島の公害経験や教訓からの学びに加えて、高梁川流域の地勢学や気象学、歴史・文化、産業や地元出身の偉人など歴史・文化とものづくりのストーリーを水島ならではのSDGs(持続可能な開発目標)の学びとして総合的に位置づけることで、水島を中心に高梁川流域と連携した学びとして多くの方が訪れ、地域の活性化につなげていきたい。